

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601226
事業所名	グループホーム ひらばり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 今年度の新たな取り組みとして、地域住民への認知症理解を促進させるための“認知症講演会”を実施している。 ホームの元利用者の家族が講師を担当し、管理者を主にホームが全面的にバックアップしている。 地域のコミュニティセンター等を会場として、既に3回の講演会を実施した。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 毎偶数月に運営推進会議を開き、年間6回の開催である。 参加メンバーが多彩で、行政代表として区の福祉課長と地域包括支援センターの職員、地域代表として自治会長、3地区の民生委員や元民生委員、消防団長、さらに知見者として大学教授や地域の薬局、有識者が名を連ねている。 家族も毎回4名前後の参加があり、有効な討議や意見交換が行われている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には、毎回地域包括支援センター職員の他に、区の福祉課からも役職者の参加がある。 区の担当課とは長く良好な関係を継続しており、これまでに生活保護受給者の利用はないが、問い合わせや紹介が区の担当者から入ってくる。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月「ほほえみだより」を発行し、利用者個々の状況を家族に知らせている。 春夏秋冬それぞれの時期に家族の参加できるイベント(四大レク)を開催し、多い時には総勢50名を越すイベントとなる。 新春の「家族新年会」は、地域の居酒屋を会場にして開催され、家族と職員とが忌憚のない意見を交換している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎		